子　ど　も　の　感　染　症

〈医師用〉

意　　見　　書

こうま保育園殿

入園児童名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

病　名「＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」

＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日から病状が回復し、集団生活に支障がない状態になったので登園可能と判断します。

年　　月　　日

医療機関＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

医師名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞又はサイン

保育園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行を防ぐことで、子どもたちが快適に生活できることが大切です。保育園児がよくかかる下記の感染症については、登園のめやすを参考に、かかりつけの医師の判断に従い登園届の提出をお願いいたします。なお、保育園での集団生活に適応できる状態に回復してから登園するよう、ご配慮ください。

○医師の記入した意見書が必要な感染症

病　　名	感染しやすい期間	登　園　の　め　や　す
麻しん（はしか）	発症 1 日前から発しん出現後の 4 日まで	解熱後 3 日を経過してから
インフルエンザ	症状がある期間（発症前 24 時間～発病後 3 日程度までが最も感染力が強い）	症状が始まった日から 5 日以内に症状がなくなった場合は、症状が始まった日から 5 日目まで又は解熱後 3 日を経過するまで
風　し　ん	発しん出現の前 7 日から後 7 日間くらい	発しんが消失してから
水　　痘 （水ぼうそう）	発しん出現 1～2 日前から痂皮形成まで	全ての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日	耳下腺の腫脹が消失してから
結　　核		感染の恐れがなくなってから
咽頭結膜熱 （プール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え 2 日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目ヤニ等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから
百　日　咳	抗菌薬を服用しない場合咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失し、全身症状が良好であること（抗菌薬を決められた期間服用。7 日間服用後は医師の指示に従う）
腸管出血性大腸菌感染症（O157、026、0111 等）		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間あけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの